

聖徳大学創立 25 周年・聖徳大学短期大学部創立 50 周年記念



聖徳大学 新収蔵品展

「利根山光人 リトグラフ」



「炎」(左)と「艶」(右) 各 H60.0×W108.0cm



両作品とも第48回版画協会展出品(1980年)

ごあいさつ

聖徳学園は、1933(昭和8)年、東京市大森区(現 東京都大田区)に、聖徳家政学院と新井宿幼稚園を開設したことに始まります。

創立以来一貫して児童教育、女性教育を中心とした教育に力を注いでまいりました。現在は、幼稚園から大学院に至るまで18の教育機関を擁する総合学園として展開しております。

1965(昭和40)年、千葉県松戸の地に聖徳学園短期大学(現 聖徳大学短期大学部)を、1990(平成2)年には聖徳大学をそれぞれ創設しました。本年(2015年)は、大学創立25周年、短期大学部創立50周年の節目にあたります。

これらを記念して、本学園が所蔵する学術資料の中から、本学園高等保育学校で教職をとられていた利根山光人先生(1921-1994)のリトグラフ(石版画)を展示公開します。

利根山先生は聖徳学園短期大学新校舎建築に際して、設計や色彩計画等の企画に参画し、芸術的な教育環境づくりを目指しました。学園内には魅力あふれる壁画がいたるところに設置され、「聖徳学園は美術の園(その)」と称されるまでになりました。

昨年、利根山先生のご遺族から油彩画、水彩画、版画等多岐にわたる利根山作品約130点の寄贈を受けました。今回はその中からすべて未公開のリトグラフ作品を紹介します。

感動を全身で表現し、あふれる情熱で作品に魂をふきこむ太陽の画家、利根山光人先生の作品を心ゆくまでご鑑賞ください。

平成27年9月7日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学 学 長
聖徳大学短期大学部学長
坐 田 星 川 並 弘



『骨の歌』 1952 年 H47.0×W53.0 cm



『佐久間ダムに寄す』 1955 年 H56.0×W43.0 cm



『夢のごとく』 1956 年 H121.0×W90.0 cm



『造船』 1958 年 H37.0×W51.5 cm



『創生A』 1984 年 H68.0×W87.5 cm

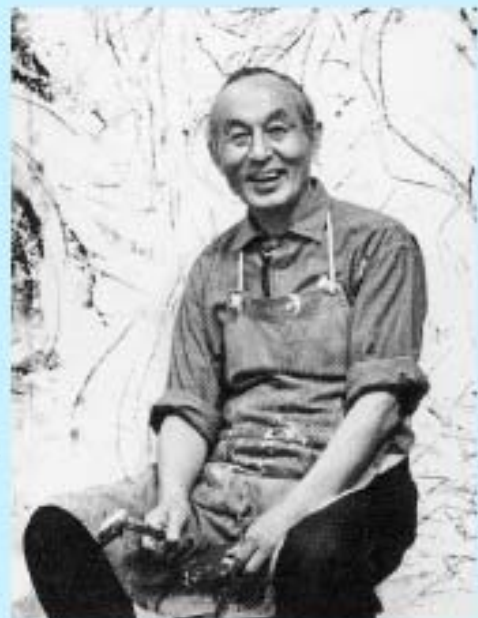
《このほかの主な展示作品》

- 『うたごえ』 1953 年
- 『時と河の流れ』 1955 年
- 『二人』 1958 年
- 『子供のいる風景』 1956 年
- 『切羽』 1957 年
- 『製鉄』 1958 年
- 『まつり(MEXICO)』(黄緑) 1973 年
- 『まつり(MEXICO)』(赤) 1973 年
- 『誕生』 1987 年

(展示作品は変更することがあります。)

利根山光人先生の略歴

- 1921(大正 10)年 [0 歳] 9月19日茨城県結城市に6人兄弟の末子として生まれる。
- 1939(昭和 14)年 [18 歳] 早稲田大学高等師範部国語漢文科に入学。
- 1943(昭和 18)年 [22 歳] 早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。
静岡の農業学校に教師として勤める。
- 1945(昭和 20)年 [24 歳] 1月 栃木県烏山女学校に国語の教師として勤める。
10月 彌恵子夫人と結婚。
烏山女学校を退職、上京。
- 1954(昭和 29)年 [33 歳] イリゼ・グリリー女史により、ジャパントムズその他で大きく取り上げられる。
この頃教員生活から去り、画業に専念する。
「利根山光人石版画集」刊行。
- 1955(昭和 30)年 [34 歳] 日本版画協会会員になる。5月～古代遺跡の美を求めてメキシコに渡る。
- 1959(昭和 34)年 [38 歳] メキシコからの帰途、ヨーロッパ各地、インドを廻る。その間にアルタミラ洞窟、ラスコー洞窟などを見学。聖徳学園高等保育科の講師になる。
- 1960(昭和 35)年 [39 歳] マヤ拓本採集のため、秘境ポナンバク及びパレンケ遺跡、マヤ遺跡を訪ねる。
- 1962(昭和 37)年 [41 歳] 聖徳学園短期大学キャンパスの建築にかかわる色彩計画、装飾、壁画を手がける。
- 1965(昭和 40)年 [44 歳] 聖徳大学1号館玄関に聖徳学園壁画第1号としてモザイクタイル壁画「若さ」制作。
聖徳大学6号館、陶版壁画「太陽」制作。これより先、聖徳大学、附属学校に次々と壁画、レリーフを制作。
- 1967(昭和 42)年 [46 歳] パレンケで発見されたマヤの秘宝「ヒスイのマスク」の国外出品の特別許可をメキシコ大統領より得る。後に日本における最初のマヤ文明展(日本橋三越)(1972.8.8～20)を実現する。
- 1970(昭和 45)年 [49 歳] メキシコ政府よりアギラ・アステカ・エンコミエンダ章受章。
- 1972(昭和 47)年 [51 歳] 紺綬褒章受章。朝日新聞連載、松本清張作「火の回路」(6.16～1974.10.13)の挿絵担当。イランに取材旅行。
- 1973(昭和 48)年 [52 歳] 9月愛媛新聞主催「利根山光人の世界」いよてつ そごうで開催。
- 1979(昭和 54)年 [58 歳] 聖徳学園川並記念講堂の緞帳「無限」に対して、第6回吉田五十八賞受賞(建築美術部門)
- 1981(昭和 56)年 [60 歳] 聖徳学園セミナーハウス山中湖荘、モザイクスタイル「宇宙」、ステンドグラス「夜」「昼」制作。3.2～29メキシコ訪問。12.23～31中国訪問。
- 1982(昭和 57)年 [61 歳] 6.19～7.1スペイン訪問。7.15～8.3フランス訪問。
- 1983(昭和 58)年 [62 歳] 5.17 活力ある文明批評を内蔵した幅広い造形活動に対して、第17回日本芸術大賞受賞。7月から10月にかけて、メキシコ、インド訪問。
- 1985(昭和 60)年 [64 歳] インド訪問。5月、メキシコ政府より再度最高文化勲章アギラ・アステカ・ブラーカ章受章。
- 1987(昭和 62)年 [66 歳] インド、メキシコ訪問。
- 1988(昭和 63)年 [67 歳] 「第3回住まいの絵画コンテスト」(朝日新聞社主催)の審査委員長を務める。
- 1989(平成 1)年 [68 歳] 1月中国訪問。5月スペイン訪問。
- 1990(平成 2)年 [69 歳] 9月ロンドン訪問。
- 1991(平成 3)年 [70 歳] 3月中国訪問。9月メキシコ、アメリカ訪問。11月再び中国訪問。
- 1992(平成 4)年 [71 歳] 病床にありながら、聖徳大学クリスタルホールに制作する壁画のスケッチにとりかかる。4月14日心不全のため逝去。享年72歳。
- 1994(平成 6)年 [72 歳]



平成27年9月7日(月)～10月31日(土)

午前9時～午後5時(休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、
東口より徒歩5分 (学内に駐車場はありません)